



ASAHI University News Letter

vol.116
July 2018

発行日／隔月1日
編集・発行／朝日大学 入試広報部

2019年度入学者選抜方法決まる



穂積キャンパス中庭で学生・教職員が創立者の命日に集う（「慶夢忌」にて）

「2019年度入学者選抜方法」が決定しました。朝日大学では、これからも教育・研究・医療の質の向上をめざし教職員全員がステークホルダーである高校生や保護者、地域社会の方々から「信頼される大学づくり」に邁進してまいります。

入学試験概要が決まる－信長入試を全学部で－



4学部を設置する朝日大学「2019年度入学者選抜試験」では、引き続き入試制度改革が進められ、「選ばれる大学、魅力ある大学」づくりがより一層進むこととなります。

2019年度入試では、高大接続改革の推進という観点からAO入試の試験科目に、学力の三要素のうち思考力・判断力を重点的に評価する「プレゼンテーション」を導入し、「信長入試」として全学部で新たに実施いたします。



法学部・経営学部

入試区分			募集人員		試験日
A O	信長	I期	法学部	経営学部	
AO	信長	I期	4名	7名	10月7日(日)
		II期	2名	2名	12月1日(土)
推薦	指 定 校	I期	22名	30名	11月4日(日)
		II期			11月4日(日)
一般	一般	I期	16名	19名	12月1日(土)
		II期			11月4日(日)
スポーツ吹奏楽会計※1	スポーツ吹奏楽会計※1	I期	A日程 B日程※2	19名	11月5日(月)
		II期			12月1日(土)
一般	一般	III期	16名	19名	1月26日(土)
		IV期			2月22日(金)
一般	一般	I期	A日程 B日程 C日程	18名	1月24日(木)
		II期			1月25日(金)
センター-plus方式	センター-plus方式	III期			1月26日(土)
		I期	3名	4名	2月22日(金)
大学入試センター試験利用	大学入試センター試験利用	II期	2名	2名	3月14日(木)
		III期	2名	2名	2名

※1 会計推薦は経営学部対象　※2 I期B日程はスポーツ推薦のみ

歯学部

入試区分			募集人員	試験日
A O	信長	I期	10名	10月7日(日)
AO	信長	II期	2名	12月1日(土)
		指 定 校		11月3日(土)
推薦	一般	I期	31名	11月3日(土)
		II期		12月1日(土)
一般	一般	I期		1月24日(木)
		II期		1月25日(金)
一般	一般	III期		1月26日(土)
		I期	8名	2月22日(金)
センター-plus方式	センター-plus方式	II期	4名	3月14日(木)
		I期	2名	センター-plus方式 独自の個別試験は 課さない
大学入試センター試験利用	大学入試センター試験利用	II期	2名	
		III期	2名	
学士・社会人等特別選抜	学士・社会人等特別選抜	I期	若干名	11月3日(土)
		II期		2月22日(金)

保健医療学部健康スポーツ学科

入試区分			募集人員	試験日
A O	信長	I期	5名	10月7日(日)
AO	信長	II期	2名	12月1日(土)
		指 定 校		11月4日(日)
推薦	一般	I期	15名	11月4日(日)
		II期		12月1日(土)
AO	推 薦	I期	43名	11月4日(日)
		A日程		11月5日(月)
AO	推 薦	B日程※		12月1日(土)
		II期		1月26日(土)
AO	推 薦	III期		2月22日(金)
		IV期		1月24日(木)
AO	一般	I期	30名	1月25日(金)
		II期		1月26日(土)
AO	一般	III期		2月22日(金)
		IV期		3月14日(木)
AO	センター-plus方式	I期	2名	センター-plus方式 独自の個別試験は 課さない
		II期	2名	
AO	大学入試センター試験利用	III期	2名	
		I期	3名	本学独自の 個別試験は課さない
AO	大学入試センター試験利用	II期	2名	
		III期	2名	

※ I期B日程はスポーツ推薦のみ

保健医療学部看護学科

入試区分			募集人員	試験日
A O	信長	I期	2名	10月7日(日)
AO	信長	II期	1名	12月1日(土)
		指 定 校		11月3日(土)
AO	推 薦	I期	26名	11月3日(土)
		II期		12月1日(土)
AO	AO	I期	32名	1月24日(木)
		II期		1月25日(金)
AO	AO	III期		1月26日(土)
		IV期		2月22日(金)
AO	AO	I期	3名	センター-plus方式 独自の個別試験は 課さない
		II期	2名	
AO	AO	III期	1名	
AO	AO	I期	5名	本学独自の 個別試験は課さない
		II期	2名	
AO	AO	III期	2名	

※このほか、帰国生徒入試(全学部)、外国人留学生入試(法、経営、健康スポーツ、歯)、学士・社会人等特別選抜入試(法、経営、看護)等があります。
※詳細は「朝日大学受験生サイト」をご確認ください。

学生生活をサポートする奨学支援制度

「歯科医師」という夢をかなえるための教育システムと独自の奨学融資制度。

真の知識と技術、そしてやさしい心を持つ「看護師」の養成を行う保健医療学部看護学科では、看護学科特別奨学金制度。

法学部・経営学部・保健医療学部健康スポーツ科学科では、

今日のきびしい経済情勢の中においても「だれもが同じスタートラインに立てるよう」充実した奨学支援制度を整備。朝日大学は、独自の各種奨学支援制度を整備し、学生生活や生涯研修を万全な体制でサポートしています。支援制度の詳細については、ホームページ、入試ガイド、学生募集要項などでご確認願います。

歯学部

奨学融資制度

学資借入支援奨学金制度

短期海外研修制度

診療費補助制度

生涯研修事業(CE)

保健医療学部 看護学科

看護学科特別奨学金制度

看護師奨学金制度

短期海外研修制度

奨学融資制度

学資借入支援奨学金制度

診療費補助制度



法学部・経営学部

保健医療学部 健康スポーツ科学科

学業奨励奨学金制度

スポーツ奨励奨学金制度

会計奨励奨学金制度

吹奏楽奨励奨学金制度

修学支援奨学金制度

北海道・沖縄特別奨学金制度

資格取得支援奨学金制度

国際交流支援制度

奨学融資制度

学資借入支援奨学金制度

診療費補助制度

OPEN CAMPUS 2018



エコプロジェクト「Cool Biz」

朝日大学では2009年度から大友克之学長のもと、建学の精神に基づき全学で「エコキャンパスプロジェクト(地球温暖化防止策)」を展開しています。

7年前の東日本大震災をきっかけに、全国規模での省エネルギー対策が求められていることから、2018年度エコプロジェクト「省エネルギー対策実施項目」を策定し、教職員・学生が一丸となり省エネルギー対策に取り組んでいます。

歯学部

6月17日(日) 13:00~16:00 7月26日(木)・8月26日(日) 10:00~15:00

入試説明、実習体験、模擬授業、個別相談などを開催。

歯学部生の一日を体験できます。

法学部

6月17日(日)・7月29日(日)・8月19日(日) 13:00~16:00

実習体験、模擬授業、入試・奨学金・就職支援の説明、在学生との懇談などを開催。各学部の特長がよく分かるプログラムです。

詳細は「朝日大学 受験生サイト」をご確認ください。

経営学部

保健医療学部

故宮田慶三郎先生を偲び「慶夢忌」

朝日大学の創立者である故宮田慶三郎先生の命日(5月22日)にあたり、穂積キャンパス中庭にある宮田慶三郎先生銅像前で「慶夢忌」が行われました。宮田淳理事長をはじめ数多くの教職員や学生が黙祷と献花をし、皆で故宮田慶三郎先生が残された詩を朗読しました。

「慶夢忌」は、故宮田慶三郎先生のご功績ややさしいお人柄を偲ぶとともに、先生の残されたお言葉を心に刻み、建学の精神を再確認する機会として開催されました。



宮田淳理事長が挨拶



献花を行う代表学生



学生とともに宮田慶三郎先生の詩を朗読

「フロンティアセミナー」開催

穂積キャンパス1号館講義室において、瑞穂市とその周辺地域にある大垣共立銀行5支店が主催する「第34回フロンティアセミナー」が本学協賛のもと開催され、本学の小島孝雄教授(保健医療学部長)が講師を務めました。

本セミナーは、大垣共立銀行が進める地域活性化事業の一環として実施されている催事で、本学は「大学の知的財産」を地域社会に還元することを目的として、第1回から協賛しています。

自分の健康は自分で守る

「人間ドックのすすめ～自分の健康は自分で守ろう～」と題した講演で、小島先生は人間ドックの目的や重要性などを解説し、自分の健康は自分で守ることの大切さについて、地域住民ら約60名に語りかけられました。

FD・SD研修会を開催

2018年度「第1回FD・SD研修会」が、穂積キャンパス5号館講義室で開催され、教職員ら約150名が真剣なまなざしで研修会に参加しました。

医療経営について

今回の研修会では、兵庫県立大学大学院経営研究科特命教授・名誉教授で、朝日大学客員教授の小山秀夫先生を講師にお招きし、「医療経営について」をメインテーマに、「なぜ医療に経営といった考え方が必要なのか」、「医療経営、病院管理学といった学問について」など、普段聞くことのできない貴重なご講話をお聞きいただきました。



小山秀夫先生が医療経営を語る

「医療経営士養成プログラム」を開講

地域社会連携講座

朝日大学地域社会連携センターでは、大垣共立銀行メディカルサポートチームの協力のもと、朝日大学病院(岐阜市橋本町)を会場とし地域社会連携講座「医療経営士養成プログラム」を開講することとなりました。

本講座は、2005年3月に朝日大学と大垣共立銀行との間で締結した産学連携協定に基づく連携事業の一環として、医療経営に関する知識、実践的な技能を体系的に学修できる社会人向けプログラムを提供し、医療現場を経営の視点に立って支えることのできる人材を育成し、地域貢献に資することを目的としています。



田村副学長からの開講の挨拶

本年度の受講者数は26名を数え、開講式では、大垣共立銀行専務取締役の加藤芳之氏及び本学田村康夫副学長から、「日進月歩の医療分野で働く者として常に視野を広げ、考える医療経営士を目指していただきたい」との挨拶がありました。

その後、第1回の講義として同銀行調査役の白川陽三氏から「医療制度と医療経済」と題した授業が行われ、プログラム(1年間で120時間)がスタートしました。

ハワイ大学マノア校と学術交流

朝日大学は、ハワイ大学マノア校と学術交流に関する覚書を締結しました。

ハワイ大学マノア校は1907年の創立で、ハワイ州ホノルル市に立地する州立の大学です。「西洋と東洋の架け橋」になることを目指し「教育、研究、奉仕」を教育理念に、世界80カ国18,000人の学生が学ぶ全米で最も知名度が高い大学の一つに数えられています。

世界20校目の国際交流協定校が誕生

穂積キャンパスで行われた締結式では、ハワイ大学マノア校のNathan M.Murata教育学部長と大友克之学長が、「教員・研究者・学生の交流、学生の交換、学術情報と教材の交換、定期学術出版物の交換、共同研究プログラムの組織化、共同会議の開催などに関する覚書」に署名し、締結いたしました。

締結式後には、今後の具体的な交流の進め方に関する意見交換が行われ、保健医学部健康スポーツ科学科の学生を対象とし、同大学の「学生短期研修プログラム」への参加を計画することなどが確認されました。



ハワイ大学マノア校との国際交流がスタート

タフツ大学歯学部長が特別講演

本学と学術交流協定を締結しているタフツ大学歯学部（アメリカマサチューセッツ州ボストン）から、Huw F.Thomas歯学部長が本学歯学部での特別講演会の講師として招かれ、穂積キャンパスを訪問されました。

歯学部教員約50名が出席した講演会では、「Dental Education at Tufts University School of Dental Medicine」をテーマにHuw F.Thomas先生から、タフツ大学の教育目標・指針・教育システムやカリキュラム構成などについて詳細に講演いただきました。

今後も両大学における歯学教育並びに臨床研究分野での一層の交流促進が図られることとなります。



Huw F.Thomas学部長の特別講演

北京大学口腔医学院との交流

30年以上続く交流



Chuanbin Guo院長（前列左から3番目）と両校関係者

Chuanbin Guo院長（前列左から3番目）と両校関係者
歯科衛生士専門学校と北京大学口腔医学院看護部の協定に基づく今後の交流・協働の発展に向けた協議を行うため、また、歯学部教員の継続派遣にかかる協力依頼を行うための訪問でした。

大友学長とGuo院長は、30年以上続く北京大学口腔医学院との深い関係を今後もさらに進展させることが大切であることを相互に確認しました。

姉妹校協定に基づく共同研究

北京大学口腔医学院との姉妹校協定に基づき、本年4月～5月に共同研究のため歯学部口腔外科学分野の村松泰徳教授が北京で研究生活を送りました。



中華口腔医学会会長であるGuang yan Yu先生（右）と
村松教授

村松教授は北京到着後、北京大学口腔医学院元院長であり、中華口腔医学会会長であるGuang yan Yu先生と面談し、歯科口腔外科学領域に関する手術手技、技術研究にかかる教員派遣や両大学の交流についての協議を行いました。今後、歯学部口腔外科学分野の教員が順次派遣されることとなります。

留学生歓迎パーティー

海外から留学生を迎える



新入生が日本語で学歌を唱和

はじめとして教職員が新入生たちをあたたかく迎え、乾杯の発声後には皆にこやかな表情で楽しく歓談しました。

ベトナム、モンゴルからの今春の新入生30名は、これから1年間、学部・大学院への進学をめざして日本語や日本文化を中心として学習することとなります。

留学生別科日本語研修課程（4月入学生）の歓迎パーティーが6号館食堂で開催されました。
パーティーでは、森下伊三男副学長、横山博信別科長を

White Coat Ceremony 2018

歯学部登院式を実施

歯学部5年生の登院式(白衣授与式)が、ご父母も参加して穂積キャンパス6号館大講義室で盛大に行われました。この登院式は、5年生が本学医科歯科医療センターで参加型臨床実習を始めるにあたり、第一歩目を踏み出す節目として毎年この時期に実施されています。

登院式では、はじめに全員で学歌を斉唱。江尻貞一歯学部長からの告辞に引き続き、倉知正和副学長、田村康夫副学長、永原國央医科歯科医療センター長らが代表学生に白衣を授与しました。

医療人としての決意表明

その後、学生代表の三輪友美さんから「社会的責任と医療人としての自覚を持ち、真摯に実習に取り組みます」との決意表明があり、倉知副学長と永原医科歯科医療センター長から学生に対して激励の言葉が述べられ、登院式を終了しました。



登院式での記念撮影

新たに「頭頸部外科・耳鼻咽喉科」開設

朝日大学病院では新たに「頭頸部外科・耳鼻咽喉科」が開設されました。

診療を担当する長谷川泰久教授は、愛知県がんセンター中央病院で副院長兼頭頸部外科部長として、多数の手術療法、さらに放射線療法と薬物療法の指導等に従事。この経験と知識を活かして、朝日大学病院では甲状腺腫瘍を含む頭頸部腫瘍の診断と治療を口腔外科と協力して行っています。



診療を担当する長谷川先生

病院の総合力を活かす

頭頸部がんが全がんに占める割合は約4%と極めて少なく、そのため、この領域で充分な診療体制を整えている病院は全国でも多くありません。

本院では既に高精度放射線治療を行う体制を整えており、これに外科的治療を加えることにより治療の選択肢が大きく広がります。口腔や甲状腺の腫瘍に対しては歯科・口腔外科や糖尿病・内分泌内科などの診療科と、また、薬物療法では各専門内科と連携し、効果的な治療体制で対応することとなります。

貴重図書の寄贈を受ける

図書館では、次の図書の寄贈を受けました。

『平成28年熊本地震大学避難所45日』

(熊本日日新聞社) 2017

法学部及び経営学部の1年生を対象とした「建学の精神と社会生活」で、講義を行っていただいている熊本学園大学教授の花田昌宣先生から、平成28年の熊本地震の際に震災避難所となった熊本学園大学の45日間の取り組みを記録した図書を寄贈していただきました。

同大学の取り組みは、災害弱者と呼ばれる高齢者や障がい者、ペット同伴者などを断ることなく受け入れ支援した「熊本学園モデル」として注目されています。

大地震に遭遇し被災者に接し、その後もボランティア活動を続けている学生達のレポートもぜひ読んでいただきたい1冊です。

むし歯予防のポスター展

「歯と口の健康週間」イベント開催

朝日大学病院及び医科歯科医療センターでは、「歯と口の健康週間(6月4日～10日)」に合わせ、歯と口の健康を呼びかける活動を実施しています。



小学生のポスターはどれも力作ぞろい
医科歯科医療センターでは、瑞穂市内の小学校7校からポスターを募集し、恒例となっている「歯と口の健康を呼びかけるポスター展」を開催しました。

むし歯予防のメッセージ

小学生の描いたポスターには、口を大きく開けて健康的な歯がそろった絵や、「毎日歯をみがこう」と虫歯予防などを呼びかけるメッセージが添えられた絵など、カラフルな色彩に児童の感性豊かな表現がちりばめられていました。

「沖縄県人会」開催



沖縄県人が集う

約50名の新入生が入会した沖縄県人会の総会が穂積キャンパス6号館食堂で開催され、沖縄県出身の学生や教職員が出席しました。

同会では、はじめに山本英弘学生部長から、歓迎の言葉と県人会の趣旨や今後の活動方針などが述べされました。その後、新入生一人ひとりが沖縄の方言を交えて自己紹介をするなど、終始なごやかな雰囲気で会員同士の親睦を深めました。

めざせ東京オリンピック 強化指定チーム決定!!

岐阜県は、朝日大学体育会の8競技団体を「2018年度強化指定クラブ」として認定しました。

2005年度から始まった強化指定制度は、ぎふ清流国体で実を結び「天皇杯・皇后杯」の獲得をはたしました。県では、2020年東京オリンピックや国民体育大会に向けて選手強化をめざすと共に、日本代表として世界で戦うアスリートを育成するため、強化指定制度を継続的に実施しています。



強化指定クラブ	対象
ホッケー部	成年男子
自転車競技部	成年男子
ハンドボール部	成年男子
卓球部	成年男子・女子
ラグビー部	成年男子
フェンシング部	成年男子・女子
相撲部	成年男子
ボウリングチーム (ブルーフラッシュ)	成年男子・女子

フェンシング 関西リーグで総合優勝

体育会フェンシング部は、豊橋市総合体育館ほかで開催された「第68回関西学生リーグ戦」で、男子が「フルーレ」・「エペ」の団体2種目において優勝、「サーブル団体」で4位となり、総合準優勝に輝きました。一方、昨年準優勝に甘んじた女子は「フルーレ」・「サーブル」で団体優勝、「エペ団体」で3位となり総合優勝に返り咲きました。

この結果、男女共に「全日本学生王座決定戦」への出場が決まりました。



フルーレでアベック優勝したフェンシング部

会計研究部

「日商簿記-1グランプリ2017」 最優秀賞に選出!!

日本商工会議所(東京)において、日商簿記全国大会「日商簿記-1グランプリ2017」の表彰式が開催され、体育会会計研究部チームが「平成29年度最優秀団体」、個人においても「平成29年度最優秀者」に選ばされました。

また、このグランプリでは、会計研究部の別のチームも団体第3位の成績を収めています。



「最優秀団体」に選ばれる

本学では、商業教育の推進をめざし岐阜県高等学校商業校長会との連携協定を締結し、高等学校と大学の7年間で公認会計士をはじめとする高度な会計士資格に挑戦し合格できるよう、2012年度から充実した会計教育を行っております。

テニス 国際大会の運営に参画



国内有数の国際大会として位置づけられ、今回で22回目となる「カンガルーカップ国際女子オープンテニス2018」が長良川テニスプラザ(岐阜市)で開催されました。

今大会では、体育会と歯学部の硬式庭球部部員らがスタッフとして大会運営に参画。ボーラーとしての部員たちの活躍は国際テニス連盟から「Excellent」の最高評価を受け、質の高い国際大会運営の一助となりました。

ラグビー 東海セブンズを制す

体育会ラグビー部は、愛知学院大学ラグビー場で開催された「東海学生セブンズ2018」においてみごと連覇を成し遂げ、本年も7月に聖地秩父宮ラグビー場で開催の「JAPAN SEVENS 2018」へ出場。天理大学に勝利し7位の成績を収めました。

フロンティア賞を受賞

また、体育会ラグビー部の吉川充監督が、日本ラグビーフットボール協会が制定した「ジャパンラグビーコーチングアワード」の「第1回フロンティア賞」を受賞しました。

同賞は、強豪チームに対する果敢なチャレンジ、ラグビーの中央勢(関東や関西の強豪チーム)に対する地方からの挑戦と開拓の精神をもって新しいラグビー文化を全国にアピールした指導者に贈られる栄えある賞です。

NEWS

2017年度 事業報告及び決算

事業報告

1 優秀な学生の受入れ(2018年度入学生に係る募集計画)

広く優秀な学生の受入れを図るために、アドミッションポリシーにより、求める学生像、入学前に修得しておくべき水準を具体的に定め、受験生や保護者に明示するとともに、本学の教育・研究活動の質の保証と向上への取組や魅力を効果的な広報活動を通じてアピールし、朝日大学ブランドの向上を図りました。その結果、本年度も全学部で募集人員を充足することができました。

2 教育・研究活動の質の保証と向上

効果的な教育・指導を行うためICTの積極的活用を図るとともに、カリキュラムポリシーに沿った教育課程の編成、ディプロマポリシーで求める学士力を保証するための卒業認定厳格化等に一層の徹底を図りました。
法学部、経営学部では、公務員や公認会計士等の資格取得希望者への支援に努めた結果、平成29年公認会計士試験(論文式試験)において6名が合格(4年連続で現役学生が合格し、4年間で延べ21名の合格者を輩出)するなど、着実に実を結びました。

歯学部では、参加型臨床実習により臨床力の強化を図り、海外協定校との交流の深化やCEプログラムと連携した大学院教育の充実により、総合的な歯科医師としての資質向上を図りました。

3 地域社会、ステークホルダー等への貢献及び連携

瑞穂市や岐阜市など近隣地域での公開講座や、高校への出張講座、英語弁論大会、ジュニアロースクールの開催等により、地域住民へ、本学が有する「知」の提供や、地域活性化のための緊密な連携を図りました。
また、新たに(株)十六銀行、(株)ANA総合研究所及び岐阜県商工会連合会と協定を締結しました。地域の企業が抱える課題に連携して取り組むこと及び地域産業の活性化や人材育成に寄与することを目指します。

4 国際化ビジョンに基づくグローバル化の推進

学生に国際感覚を身に付けさせるため、歯学部では、海外協定校との間で、短期海外研修派遣及び受入れによる相互交流を実施しました。法学部、経営学部では、アメリカ、ベトナムに加え、2017年度からタイでの短期海外研修を実施、また、保健医療学部看護学科では、アメリカでの短期海外研修を実施しました。このほか、学術研究の促進及び資質向上を目的として、教員をペンシルベニア大学、タツ大学、UCLAに派遣しました。派遣された教員は、学問専攻分野や教育一般に関する研究調査に従事し、多くの成果を出しています。

5 学生支援対策

学業奨励、スポーツ奨励等の奨学金による修学支援、スクールバスの運行や附属病院における診療費補助等の制度による生活支援、留学生への住居支援などとともに、「学生相談室」に専門員を配置し、学生の「心」のケアにも努めました。就職支援に関しては、企業を対象とした「講演と懇親の会」や「就職セミナー」の開催、AGOでの学生への就職指導を継続してきた結果、2017年度の文系学部学生の就職率は98.7%と高い数字を維持することができました。

6 社会人の学び直し支援

歯科医師の生涯研修として、明海大学との連携によるCE事業を実施し、UCLAとのジョイントプログラムを共同で推進するなど、より高度で専門的知識と技術を持つ総合臨床歯科医師の育成に努めてまいりました。
また、地域住民への生涯学習として、グローバルな職業人として外国人に対応することができる能力を体得するための実践ビジネス英会話プログラム等を開講し、企業人の英語力向上に取り組みました。

7 施設・設備の充実

教育研究機器や医療機器について順次更新を進め、学生の修学環境や医療環境の充実を図りました。
また、1号館第3・第4講義室のリニューアル工事、3号館講義室の増設工事、6号館4階講義室の拡張工事などを実施いたしました。
さらに5号館図書館分室では、ラーニングコモンズを整備し、グループ学習や討論会などができる自主学習のための環境を整備しました。

8 法人運営の基盤強化

法人運営の基盤の強化のため学生募集に全力を挙げるとともに、安定的な医療収入の確保に努め、その一方で経費の節減を図ることで、適正な収支の維持に努めました。

2017年度学校法人朝日大学事業報告及び決算が5月24日(木)開催の理事会ならびに評議員会において全会一致で承認されました。

2017年度事業報告及び決算は以下のとおりです。

第47期決算報告書(2017年度)

資金収支計算書

単位:円

収入の部	支出の部
学生生徒等納付金収入 4,610,982,370	人件費支出 8,511,726,145
手数料収入 43,351,940	教育研究経費支出 6,118,762,521
寄付金収入 6,675,000	教育研究経費支出 2,289,791,234
補助金収入 842,858,666	医療経費支出 3,828,971,287
資産売却収入 23,022,343,794	管理経費支出 608,631,143
付随事業・収益事業収入 116,797,586	施設関係支出 372,667,883
医療収入 9,726,975,263	設備関係支出 310,895,002
受取利息・配当金収入 5,205,413,507	資産運用支出 33,127,225,610
雑収入 173,076,026	その他の支出 11,984,033,258
前受金収入 670,006,500	資金支出調整勘定 △ 920,193,945
その他の収入 17,098,782,835	翌年度繰越支払資金 5,026,057,556
資金収入調整勘定 △ 2,167,517,599	支出の部合計 65,139,805,173
前年度繰越支払資金 5,790,059,285	
収入の部合計 65,139,805,173	

事業活動収支計算書

単位:円

教育活動収支	事業活動収入の部	事業活動支出の部
	学生生徒等納付金 4,610,982,370	人件費 8,526,294,817
教育活動外収支	手数料 43,351,940	教育研究経費 7,085,919,298
	寄付金 15,001,061	教育研究経費 3,173,413,164
教育活動外収支	経常費等補助金 837,810,666	医療経費 3,912,506,134
	付随事業収入 57,736,287	管理経費 616,344,312
教育活動外収支	医療収入 9,726,975,263	徴収不能額等 13,001,867
	雑収入 173,076,026	教育活動支出計 16,241,560,294
教育活動外収支	教育活動収入計 15,464,933,613	教育活動収支差額 △ 776,626,681
教育活動外収支	事業活動収入の部	事業活動支出の部
	受取利息・配当金 5,205,413,507	事業活動支出の部 0
教育活動外収支	その他の教育活動外収入 59,061,299	教育活動外支出計 0
	教育活動外収入計 5,264,474,806	教育活動外収支差額 5,264,474,806
経常収支差額 4,487,848,125		
特別収支	事業活動収入の部	事業活動支出の部
	資産売却差額 911,628,003	資産処分差額 1,337,129,946
特別収支	その他の特別収入 19,564,295	その他の特別支出 0
	特別収入計 931,192,298	特別支出計 1,337,129,946
特別収支		特別収支差額 △ 405,937,648
基本金組入前年度収支差額 4,081,910,477		
基本金組入額合計 △ 5,409,059,527		
当年度収支差額 △ 1,327,149,050		
前年度繰越収支差額 △ 7,228,398,471		
翌年度繰越収支差額 △ 8,555,547,521		

貸借対照表

2018年3月31日 単位:円

資産の部	負債の部
固定資産 160,597,336,128	固定負債 4,153,308,523
有形固定資産 26,214,818,348	流動負債 1,758,955,675
土地 11,433,876,271	負債の部合計 5,912,264,198
建物 9,627,134,662	純資産の部
図書 3,215,966,384	基本金 170,057,390,929
その他有形固定資産 1,937,841,031	第1号基本金 46,445,890,929
特定資産 126,560,808,523	第2号基本金 15,000,000,000
第2号基本金引当特定資産 15,000,000,000	第3号基本金 107,407,500,000
第3号基本金引当特定資産 107,407,500,000	第4号基本金 1,204,000,000
退職給付引当特定資産 4,153,308,523	繰越収支差額 △ 8,555,547,521
その他の固定資産 7,821,709,257	翌年度繰越収支差額 △ 8,555,547,521
流動資産 6,816,771,478	純資産の部合計 161,501,843,408
資産の部合計 167,414,107,606	負債及び純資産の部合計 167,414,107,606

※詳細は、本学webサイト (http://www.asahi-u.ac.jp/info/f_jigyou.html) をご覧ください。